

# 自分たちの 住む町は、 黒字か、 赤字か。

Is our town in the black or  
in the red?



# 全産業の 経済情報を提供し、 伴走します。

We provide economic information on all industries and escort a project good future.

人口減少や高齢化をはじめとした様々な問題から、経営の危機に瀕している絶滅可能性都市が増えています。その危機から脱する方法の一つが自地域の経済状況をしっかり把握することです。そもそもどんな産業があるのか？どんな産業が利益を生み出しており、どれだけ他地域へとお金が漏れているのか。各産業の経済波及効果や税収の流れをしっかりと把握することで、破綻する前に何らかの手が打てるはずです。しかしながら、多くの自治体でそういったデータが存在せず、結果として、経験や勘に頼った政策になってしまうこともあるのではないのでしょうか。それらの問題点に対して精度高く分析できる調査手法が当社にはあります。さらに、私たちが提供しているサービスは、ただ調査結果を渡して終わりではありません。再生・創造に向けた打ち手を考えるお手伝いも含めて力強く伴走させていただきます。

## 産業連関表

IO : Input-Output table

特定地域の全産業における1年間の経済状況や、経済波及効果（オリンピックやインバウンド、公共事業などの）の算定などに活用されており、政策を考える上で重要なデータになります。

### <導入実績例>

- ・熊本県 南小国町 町役場さま
- ・島根県 海士町 町役場さま
- ・石川県 宝達志水町 町役場さま
- ・岩手県 陸前高田市 市役所さま
- ・宮城県 気仙沼市 市役所さま
- ・北海道 下川町 町役場さま
- ・北海道 美瑛町 町役場さま



## IREAM

Interactive Regional Economic Analysis Model

IREAMとは対話型地域経済分析モデルの略で当社のオリジナルサービスの一つです。産業連関表の知識がなくても、自地域の経済状況を直観的かつ対話的に情報を把握することができます。産業連関表を容易に活用したいとの声に応え、自社で独自に開発しました。web上で地域経済情報を対話的に分析・考察できるモデルとしては、世界初です（当社調べ）。当社HPにて体験ページ公開中。

### <IREAM活用のメリット>

- ・web上のサービスなのでPCや携帯などからアクセスできる
- ・対話型サービスなので知りたい情報をワンクリックで操作できる
- ・操作は小学生でも分かるように簡易化
- ・クリックするだけで、グラフを無数に示すことができる
- ・知りたい産業の情報が複数でも同時に選択し足し合わせた結果を示せる

LCA(Life Cycle Assessment)の専門家。東京都市大学大学院 環境情報学研究科にて、博士号（環境情報学）を取得。日本学術振興会 特別研究員として、シドニー大学に留学後、東京大学 生産技術研究所の特任研究員として研究に従事。研究成果は産業技術総合研究所や多数の企業に採用・活用されています。パートナー企業の有限会社イーズと共にこれまで多数の地域版産業連関表を開発してきました。各案件に寄り添ったプロジェクトを設計・実施します。

<代表取締役 小野 雄也>

